

つかさ会 会報

2020.5月



つかさ会の皆さま、こんにちは。このたびは、当院のスタッフの新型コロナウイルス感染が発覚し、4月6日(月)から4月19日(日)まで外来を休止することとなり、通院中の会員の方には、ご不便をおかけしてしまい申し訳ございませんでした。4月20日(月)からは通常通りの外来診療を再開しておりますが、来院時の検温や問診票の確認などでお手数をおかけしますことをお詫び申し上げます。暖かい季節にはなりましたが、くれぐれも、不要不急の外出を控え、体調管理にはご留意いただくようお願い申し上げます。

さて、今回は、4月から当科の仲間に加わりました富成先生に「さかえ」の読みどころを紹介させていただきます。
文責:酒井 麻有

※ 大学病院における5月の『糖尿病公開教室』はお休みさせていただきます。次回は6月19日(金)を予定しておりますが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、中止させていただく場合もあります。お手数ですが、岐阜大学第三内科ホームページ (www.med.gifu-u.ac.jp/diabetes) でご確認ください。

本年度から入局しました富成 俊輔と申します。どうぞよろしくお願いいたします。今月号の『さかえ』の特集は、『糖尿病診療ガイドライン 2019 改訂のポイント(P.5)』と『水害への備え(P.34)』についてです。

まず『糖尿病診療ガイドライン 2019 改訂のポイント』についてですが、今回の改訂により食事療法の個別化に焦点が当てられました。食事療法は従来標準体重を用いて必要エネルギー量を算出し、栄養指導を行ってきました。標準体重の計算にはBMIという値を用いられるのですが、その値が現在の実情では合わなくなってきているということがわかってきました。そのため今回の改訂で従来の標準体重に基づいた設定法を廃し、治療初期の目安を掲げることに重点を置くことにしました。これにより患者さん各々の状態に合わせて必要エネルギー量を設定することができ、食事療法の個別化が可能となりました。また食べる順番や食品の組み合わせなども重要視され、今回のガイドラインではこの二つに対する注意喚起がなされています。今回の改訂では今まで述べた点により患者さんの状態に合わせたオーダーメイド医療への道標を示したものとなっています。

次に『水害への備え』についてですが、近年日本では台風や大雨による水害が頻発、激甚化しており、それらから身を守るため防災情報の活用による適切な避難行動の準備が必要となっています。具体的にはハザードマップの確認、避難情報や防災気象情報の確認などが活用できます。また避難の際の注意点やマイ・タイムラインの作成などについても書かれているので今後の参考になると思います。

また今回の特別企画は『日本糖尿病協会ウェブサイト活用術 (P.36)』となっています。糖尿病情報や日本糖尿病協会への入会方法、災害にあったときの対処法や糖尿病友の会の紹介、転居先での糖尿病専門医の検索など様々なコンテンツがサイトにはあります。この機会に是非一度サイトを覗いてみてください。

